仙台市天文台の中期計画（2020－2022年度）について

資料 4-1

概要

仙台市天文台では3年毎に中期計画を策定している。
この計画では、ミュージアム・アイデンティティをベースに、ビジョン・重点目標・評価指標を明確に設定し、事業を内部的に評価する方式を採用している。

目的

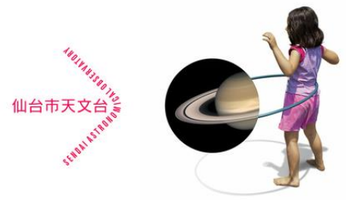
・PDCAサイクルによる業務改善
・目標の明確化による施設一丸の体制づくり
・内部評価による運営の健全性の証明
・博物館法および要求水準の履行

概念図

【思想的・抽象的】

マインド・アイデンティティ（施設理念）「何のためにあるのか」	ビジョン（将来像、夢）「何を目指すのか」
「宇宙を身近に」 質の高い天文情報を、身の回りのものごとと関連づけて示し、生きた対話を生み出します。	WAをひろげよう

【現在】 ←→ 【未来】

ビヘイビア・アイデンティティ（施設活動）「どのように行動するのか」	重点目標「どのように目指すのか」
【天文観測】 市民の「宇宙を観る眼」となります。 【調査研究】 市民にとっての「宇宙の魅力」を引き出します。 【教育普及】 市民を「宇宙の世界」へと誘います。	A) 市民による活動または市民との活動の”輪”をひろげます。 B)市民が来やすく居やすい施設を目指し、"環"境整備に努めます。 C)エクスペリエンス"サークル"により、市民の宇宙・天文への興味を深化させます。
ビジュアル・アイデンティティ（施設表現）「どのように表現するのか」	評価指標（具体的な手法）「具体的に何を行うのか」
	別添資料参照

【行動志向的・具体的】